

研究に励んでいます！

長期研修生

長期研修事業は、県内の学校教育における教科・領域等の諸課題の解決を目指した研修制度です。今年度も、A、B、Cの研究テーマ別に研究を進めています。

研究成果は、Web上で公開し、教育実践交流会でも概要を発表します。(ポスターセッション形式による発表です。)

来年度の応募をお待ちしています。

3つの研究テーマから、研究課題を設定し、研究を進めています。

- A 確かな学力の定着
- B 豊かな人間性の育成
- C 個別あるいは集団に応じた生徒指導、特別支援教育の充実

● 通年(平成23年4月1日～平成24年3月31日) ●

A	生きて働く言語能力の育成を目指した国語科学学習指導の在り方	御船が丘小学校 嬉野小学校 有明中学校	中野 暁子 山口 崇 田中麻由子	国語 国語 国語
	知識・技能の習得を図り、数学的な思考力・判断力・表現力を育む学習指導の工夫	三田川小学校 外町小学校 山内中学校	吉岡功太郎 新 真一 菰田 充範	算数 算数 数学
	新教育課程における学習指導の在り方	武雄高等学校	岡 高昭	英語
A	思考力・判断力・表現力を高める学習指導の在り方	鹿島実業高等学校	野副 修平	公民
C	個や集団の成長を促す教育的支援の在り方			

● 半年(平成23年10月1日～平成24年3月31日) ●

A	思考力・判断力・表現力を高める学習指導の在り方	富士小学校 北茂安中学校 曲川小学校	吉田 誠也 角田 梓 松尾 博之	理科 社会 図画工作
B	他者とのかかわりを豊かにする指導の在り方	吉田小学校 吉田中学校 六角小学校 長松小学校	山田 洋 神近 智 溝口隆一郎 西村 政彦	道徳 道徳 外国語活動 特別活動

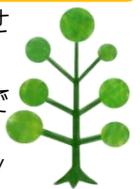
過去の研究成果も、教育センターホームページから見るができます。(「研修・講座」の「長期研修事業」をクリックしてください。)
http://www.saga-ed.jp/chouken/choukikenshuu_jigyuu/chouken_report/

問い合わせ先 研修課 長期研修担当 TEL:0952-62-5213(直通) メール:chouken@saga-ed.jp

教育センター

知っ得情報!!

- ・教育センターからのお知らせを掲載しています。
 - ・「ミネルバ」はホームページでもご覧いただけます。
- <http://www.saga-ed.jp/>



教育論文・ICT活用実践研究募集中!

過去の入賞作品も公開しています。詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.saga-ed.jp/shien/ronbun/>

1 募集内容

- 「教育論文」 校内研究の部 (学校全体で取り組んできた教育実践)
個人又はグループ研究の部 (個人やグループで取り組んできた教育実践)
- 「ICT活用実践研究」

2 応募期間及び提出先

市町立の幼稚園、小・中学校…… 10月31日(月)～11月9日(水)各市町教育委員会へ
 県立学校…… 11月14日(月)～11月22日(火)教育センターへ



問い合わせ先 情報課 教育課程支援担当 TEL:0952-62-5238(直通) メール:shien@saga-ed.jp

教育センターニュース

ミネルバ



121号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
 〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
 TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

掲載記事

- 公開講座報告
- 特集
新学習指導要領における
学習評価の進め方-小学校版-
- 研究に励んでいます！長期研修生
- 教育センター 知っ得情報

公開講座報告

公開講座は、研修講座の一部を公開し、受講者以外の先生方も聴講することができます。今年度も著名な講師をお迎えし、先生方のニーズに応じた講義をしていただきました。今年度の公開講座の一部を紹介します。

今年度8本開催！

来年度も多数のご参加
をお待ちしています。

中学校社会科Ⅰ講座

熊本大学教育学部准教授 藤瀬 泰司

8/1
(月)

新学習指導要領を踏まえて、「主題学習」と「動的・地誌学習」の違いや、生徒の思考を「事実・用語」から「地域解釈」に至らせる授業づくりについて講義されました。

授業実践例やワークシートも提示され、「今後の授業への大きな手がかりとなった」と好評でした。



教師のための不登校支援と未然防止講座

宮崎大学大学院教育学研究科教授 小野 昌彦

8/3
(水)

不登校の児童生徒への対応の基本と、心理学を生かした学級経営や生徒指導の方法について、テストやクイズを織り交ぜて、講義されました。

不登校と法律の関連、不登校が継続される要因など、児童生徒への支援を行う上での根拠となる理論を学ぶことができました。



子ども虐待の現状の理解と対応講座

西南学院大学人間科学部教授 安部 計彦

8/10
(水)

データから見える子ども虐待の現状とその背景にあるものについて、児童相談所で関わられた事例を交えながら、講義されました。

豊富な経験に基づいた講義で、子どもや保護者への支援の在り方、関係機関の役割と連携の進め方についても学ぶことができました。



子どもの成長を共に考える保護者との関係づくり講座

北九州市立大学文学部教授 楠 凡之

8/17
(水)

保護者とのよりよい関係づくりのポイントについて、多くの事例を基に講義をされました。保護者が抱える「生きづらさ」を理解し、保護者への適切な援助の在り方を考えていくことの必要性にも言及されました。「今抱えている問題解決へのヒントとなった」と好評でした。



問題行動への対応と予防講座

文部科学省初等中等教育局視学官 三好 仁司

8/22
(月)

昨年度出された生徒指導提要について、「指導方針を広く知らせること」「事実確認を行うこと」等、生徒指導の基本を8つにまとめ、講義されました。関係機関との連携に関する「生徒指導資料第4集」*も紹介されました。



小・中学校音楽科講座

文部科学省初等中等教育局教科調査官 津田 正之

8/25
(木)

授業づくりのポイントとして、〔共通事項〕に取り上げられている「問いと答え」や「音楽の縦と横の関係」について、演習を交えながら講義されました。

また、新しい学習評価の考え方や方法についても、事例を基に学ぶことができました。



* 下記の URL からダウンロードできます。
<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/4syu-kaitei/4syu-kaitei.htm>

その他の公開講座

小学校算数科Ⅱ講座・中学校数学科Ⅰ講座(6月28日) 帝京大学文学部教授 清水 静海
 小・中学校特別活動講座(10月6日) 文部科学省初等中等教育局教科調査官 杉田 洋

● 「何が変わったの?」「子どものどんな姿を評価するの?」等の疑問を解決します!

平成 23 年度から、小学校では新学習指導要領が全面実施となりました。新学習指導要領のねらいを実現するために、その趣旨を踏まえた学習評価の考え方を理解し、妥当性、信頼性のある学習評価を行うことが大切です。そこで、教育センターでは、学習指導要領解説や、国立教育政策研究所から示されている「評価規準の作成のための参考資料」(H22. 11 月)及び「評価方法等の工夫改善のための参考資料」(H23. 3 月)を基に、小学校の各教科・領域の「学習評価の進め方」(手引き)を作成し、10 月に Web 発信しました。

この「学習評価の進め方」(手引き)では、各教科・領域における目標や評価の観点及びその趣旨はもとより、各観点の具体的な評価の仕方について、見取るべき児童の姿を例示しながら述べています。また、すぐに実践に生かせるよう、複数の学習評価事例を掲載しています。さらに、多く寄せられる疑問点をすっきりと解決する Q&A のページも作成しています。

「学習評価の進め方」(手引き)は、教育センターのホームページからダウンロードできます。各学校で新学習指導要領に基づいた指導と評価を推進していくために、是非お役立てください。

なお、1 月には中学校版を発信する予定です。



http://www.saga-ed.jp/kenkyu/hyouka_jirei/

学習評価の基本的な考え方

- 目標に準拠した評価を着実に実施します。
- 児童生徒一人一人の進歩の状況や、単元・題材における目標の実現状況を的確に把握します。
- 指導方法の改善に生かします。



学習評価の進め方と留意点

- 各学校で評価規準を適切に設定し、評価方法の工夫改善を進めます。
- 学校として組織的・計画的に取り組みます。
- 観点到応じて、学習評価の時期や方法を工夫します。
- 学習の結果だけでなく、そのプロセスを十分に見取り、評価することが大切です。

学習評価の観点

「思考・判断」から「思考・判断・表現」になりました。

関心・意欲・態度

知識・理解

4つの
観点

技能

思考・判断・表現

従来の「技能・表現」における「表現」も含まれます。

基礎的な知識・技能を活用しつつ、思考・判断した過程や結果を、児童生徒がどう表出しているかを見ます。

国語



学習評価のポイントについて

- 「話す能力・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の観点のいずれを取り上げても、基礎的・基本的な知識・技能と「思考・判断・表現」を合わせて評価を行います。
- 領域を絞り、より適切な指導と評価を行います。

掲載している事例

領域の関連を図る指導と評価が分かる事例(「書くこと」と「読むこと」を関連付け、双方の指導の効果を高める事例)等を紹介しています。

社会



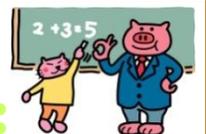
学習評価のポイントについて

- 「関心・意欲・態度」では、身に付けた見方や考え方をどう生かそうとしているかも含めて評価します。
- 「思考・判断・表現」では、思考・判断したことの表現内容とその過程を見取り、総合的に評価します。

掲載している事例

「社会的な思考・判断・表現」の評価の仕方が分かる事例(「昔の道具」の単元において、表現する学習を展開する事例)等を紹介しています。

算数



学習評価のポイントについて

- 「思考・判断・表現」に該当する「数学的な考え方」では、思考・判断したこととそれを表現する活動とを一体的に評価します。言葉や式、図、グラフ等を用いて考えたり、説明したり、伝え合ったりしているかどうかを見取ります。

掲載している事例

「数学的な考え方」の評価の仕方が分かる事例(三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積をいろいろな方法で考える事例)等を紹介しています。

理科



学習評価のポイントについて

- ・「思考・表現」「技能」「知識・理解」の観点では、児童の現状や変容を着実に把握し、評価します。
- ・自然事象についての知識・理解は、実感を伴って理解しているかどうかを、総合的に評価します。

掲載している事例

単元全体を見通して、学習評価の進め方が分かる事例(調べる活動を通して、比較したり、関連付けたりする能力を育てる事例)等を紹介しています。

生活



学習評価のポイントについて

- ・これまで通り、「思考と表現の一体化」を生かした指導及び評価を重視します。
- ・活動や体験に対する興味・関心や、取組への意欲等について、授業時間以外の姿も含めて評価します。

掲載している事例

「身近な環境や自分についての気付き」の評価の仕方が分かる事例(「野菜を育てる」活動の展開事例)等を紹介しています。

音楽



学習評価のポイントについて

- ・「音楽表現の創意工夫」では、聴き取り感じ取ったことを基に、音楽をどのように表すかについての思いや意図をもつことができているかどうかを評価します。
- ・「鑑賞の能力」は、音楽的な感受も含めて評価します。

掲載している事例

「音楽表現の創意工夫」の評価の仕方が分かる事例(旋律や曲の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫しながら歌う学習)等を紹介しています。

図工



学習評価のポイントについて

- ・身に付けさせたい力(題材における学習活動を通して育てたい資質や能力)を明確にし、評価を行います。
- ・作品だけでなく、活動のプロセス(新しいことを進んで試したり、楽しもうとしたりする姿)を評価します。

掲載している事例

具体的な評価の方法が分かる事例(評価のための情報の収集や具体的な評価の方法についての事例)等を紹介しています。

家庭



学習評価のポイントについて

- ・内容相互の関連を図り、目的に応じた題材を設定して指導と評価を行います。
- ・「関心・意欲・態度」では、学習したことを基に、家庭生活に生かそうとしているかどうかを評価します。

掲載している事例

内容の関連を図った題材(「調理の基礎」分野と「消費生活と環境」分野等)における、指導と評価の方法が分かる事例等を紹介しています。

体育



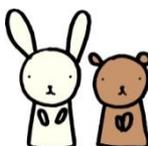
学習評価のポイントについて

- ・評価規準を、具体的な活動の姿として設定し、数値的な評価に偏らない評価を行います。「思考・判断」では、運動に関する知識、練習の工夫、友達との関わりについて、行動の観察や学習カード、作戦ボード等から評価します。

掲載している事例

単元全体を通して、学習評価の進め方が分かる事例(運動領域の3つの評価をバランスよく設定した展開事例)等を紹介しています。

特活



学習評価のポイントについて

- ・各学校で、児童の実態や身に付けさせたい力を吟味し、実態に応じた評価の観点を設定します。
- ・「自主的、実践的な態度」「望ましい人間関係」の育成を特に意識し、観点を設定します。

掲載している事例

「集団の一員としての思考・判断・実践」を評価した事例(実践課題について考え、自己決定し、適切に判断し、実践する事例)等を紹介しています。

外国語活動



学習評価のポイントについて

- ・領域としての導入のため、評価の観点が異なります。
- ・体験的な活動を通して、外国語へ慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地を育成することをねらいとする、外国語活動特有の評価の観点を設定します。

掲載している事例

単元全体を通して、学習評価の進め方が分かる事例(3時間の活動の中で、バランスよく観点別評価を行う展開事例)等を紹介しています。